

まちじゅうを図書館に ～本をとおりして交流を楽しむ～



小布施町立図書館「まちとしょテラソ」(長野県上高井郡小布施町) 【URL】<http://machitoshoterrasow.com>

基本データ (数値はH25年現在)

住所	上高井郡小布施町大字小布施1491-2
電話番号	026-247-2747
人口 (図書館が所在する市町村)	11,400人
職員数 (うち有資格者数)	7人 (3人)
蔵書数	90,504冊
登録者数	7,280人
年間貸出冊数 (H24)	87,835冊

目的・趣旨

「おもてなしのところで図書館演出」
「小さな町全体を図書館として考える」
町内のお店やお宅のちょっとしたスペースに本棚を設置し、訪れた人が自由に本を手に取り、館長との会話を楽しみ、交流を深める。

取組概要

2012年10月、「まちじゅう図書館」スタート。

参加していただく商店や個人宅をすべて図書館として考え、その主はみな館長とする。将来100館を目指し、達成時には「小布施町立図書館まちとしょテラソは小布施町を『本のまち』として宣言しよう!」をコンセプトに構想から3年をかけて始まった。

構想当初は、ICタグを使用したシステムを考えていたが、なかなか実現に至らず、構想2年目あたりから、「まとまった寄贈や個人所有の本がたくさんある」という話を町中の多方面で聞くようになり、当初の考えをもっと簡単な方法でできないものかと検討を続けた。

その結果、寄贈したい本をそのまま家の一角で公開するという方向性が確立され、そこから現在の「まちじゅう図書館」が始まった。「小布施町立図書館まちとしょテラソ」が中心となり、参加館10館からスタート。その後も参加の手が挙がり、現在15館となった。

特徴

①酒屋さん、味噌屋さん、カフェ等の商品展示棚等の一角や、個人のお宅の玄関先の棚等に、商品に関係する本や館長こだわりの蔵書を展示。休館日や開館時間は館長の自由設定。貸出も館長との交渉による。

- 本好きな支店長の選書が並ぶ銀行。
- 農産物直売所に併設され農業書が並ぶカフェ。
- 館長こだわりの稀覯本もある老舗の味噌醸造店。
- 酒・肴関係の本中心の酒屋さん。
- お客さんが持ち寄ってくれた本が増えたという喫茶店等。



カフェの一角にある書棚。

②開館していることを示す「オブセドリ・フラッグ」を作成し、各館に配布。来館者は、このフラッグで開館しているか否かを判断。

③「パスポート」を作成し、スタンプラリーを実施。

④「図書館マップ」を作成し、本を巡るまち歩きのお手伝い。

⑤展示する本が不足している場合は、「まちとしょテラソ」から貸し出すことも可能。



左は「まちとしょテラソ」の外観。
右は館内。



取組の成果と今後について

- ①情報交換や各館長の交流を図るため、定期的に館長会議を開催予定。
- ②小布施町では、花をとおして交流を図る「オープン・ガーデン」が町内130軒のお宅で展開中。本をとおして交流を図る「まちじゅう図書館」も、将来的には100軒を目指したい。
- ③「交流と創造を楽しむ文化の拠点」としての住民参加の取組が評価され『ライブラリー・オブ・ザ・イヤー 2011』大賞受賞。